

第536号

週刊さんいん学問

めざして読んで



きょうの紙面

2

みんなのギモンにこたえるモン

3

わくわくインタビュー

4

まなぶんクロス / 投稿ひろば



博物館に収まらない品々を、展示以外で活用する取り組みが注目を集めています。

愛知県北名古屋市では、高齢者が幼いころに使っていた生活用品を手にとったり、思い出を語り合ったりすることで、脳の働きをうながす取り組みを20年以上も前から続けています。ここで使われているのが、博物館で展示されなくなった「収蔵品」なのです。

収蔵品を寄付したのは北名古屋市の昭和日常博物館です。「ちゃぶ台」と呼ばれる丸い机や黒い電話、農具など、かつて多くの家にあった生活道具をきっかけに、集まった時、高齢者同士、話がはずみます。認知症予防にも効果があるとされています。

昔の道具で認知症予防

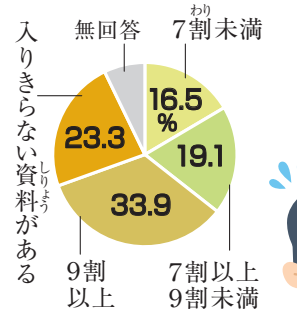


昔の家具や生活道具が置かれた部屋で、当時の生活について語り合う高齢者ら＝2024年11月、愛知県北名古屋市

古くからの生活伝える博物館ピンチ

博物館の「スペース問題」のイメージ

博物館収蔵庫のスペースの埋まり具合



博物館の学芸員「寄付したい」

ニュース？なぜなに

処分できるルール

栃木県立博物館(宇都)

なります。昔の歴史や文化を知る手がかりが永久に失われてしまうおそれがあるからです。

日本の古くからの歴史や文化を伝える品を展示したり、保管したりする博物館が全国でピンチにおちいつています。保管スペースが足りず、満ばいになるところも出てきているのです。なぜ、こうしたことが起きているのでしょうか。

博物館には大昔に絶滅した動物の化石のほか、土器や像、絵巻物など、さまざまな品が収められています。でも今、特に困っているのは、古い農具や布を織る機械といった、昔の生活道具をしまふ場所の確保なのです。

博物館だけではおさまらず、別の場所で保管されている品々。棚だけでは足りず、ゆかにもたくさん置かれていた2024年11月、浜松市



まなぶんクイズ

(3日付紙面から出題)
宇宙航空研究開発機構(JAXA)は2日、国産新型ロケット「H3」5号機

を鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げ、準天頂衛星を予定通り分離しました。分離した衛星の名前は次のうち

どれ？
①きらめき3号機 ②みちびき6号機
③だいち4号機

クイズの答えは4面へ

スポーツ

大相撲でモンゴル出身力士の豊昇龍が1月に行われた初場所で逆転優勝し、大関から横綱に昇進しました。モンゴル出身の横綱は、叔父の元朝青龍らに次いで6人目。昇進の伝達式では「横綱の名を汚さぬよう、気魄一閃の精神で精進致します」と決意を述べました。

初場所では9日目までに3敗しましたが、終盤

豊昇龍 横綱に昇進 モンゴル出身、6人目



に追い上げました。千秋楽では12勝3敗で並んだ他の2人の力士と三つどもえの決定戦となり、見事に2度目の優勝をつかみ取りました。「今までやってきた稽古を信じて自分の相撲を取り切った」と胸を張りました。

入門から7年。25度の優勝を誇る大横綱だった叔父と同じ地位に就きました。3月の春場所に第74代横綱として臨む豊昇龍は「今までより何倍も稽古しないといけない」と気を引き締めました。

国際

中東のパレスチナ自治区ガザで、イスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘が1月19日に停止しました。お互いの合意に基づく対応で、まずは6週間停戦します。戦闘は2023年10月から15カ月以上続き、亡くなったガザの住民らは4万7千人を上回ります。戦闘が完全に終わるかどうか、世界中が注目しています。

ガザ6週間停戦 終結するか注目



戦闘停止や拘束された人質の解放についての知らせを受け、よろこぶ人々＝1月19日、パレスチナ自治区ガザ(ゲッティ=共同)

イスラエルのネタニヤフ首相は合意の発表後に行ったテレビ演説で、ガザの戦闘停止は一時的なものだと説明しました。アメリカから「必要に応じて戦闘を再開する権利」への支持を得ていると主張し、再開する場合は「強力で攻撃する」と強調しています。

社会

「ドクターイエロー」の愛称で知られる東海道・山陽新幹線の点検車両2編成のうち、JR東海が所有する車両が1月29日、約24年間にわたる「電車のお医者さん」の役目を終えました。走行している姿をめったに見られないことから「見ると幸せになる」との都市伝説まで生まれました。ドクターイエローは先頭の形がカモノハシのく

JR東海 黄色い「電車のお医者さん」引退



ラストランを終え、JR東京駅に到着するJR東海のドクターイエロー＝1月

ちばしに似た「700系」新幹線の車両をもとに開発され、2001年に導入。05年にデビューしたJR西日本のものと2編成体制で東京一博多間を走行しレールや電気設備を検査してきました。しかし、車体が古くなり、JR東海は最新の営業列車に機器をのせ、営業走行しながら検査できるようにしました。JR西のドクターイエローも27年以降に引退となります。

今回引退した車両は6月ごろから名古屋市のリニア・鉄道館で展示されるそうです。

41ニャー777



気持ち伝える日

2月14日はバレンタインデー。日本では大好きな人やお世話になった人にチョコレートをあげるイベントとしてすっかり定着しているね。海外でも身近な人に花束やおかし、手紙といったギフトをおくる風習があるみたい。

過ごし方はちがっても、世界共通なのは相手に気持ちを伝える特別な日だということ。自由に楽しみたいね。

山陰中央新報製作センター見学施設 しんぶん学問館

山陰中央新報社の見学施設「しんぶん学問館」(出雲市斐川町上庄原)は、展示コーナーや設備の見学を通して、紙面作りや印刷の仕組みを学ぶことができます。

山陰中央新報を印刷している「山陰中央新報製作センター」に併設され、大型ディスプレイで映像を見られる視聴覚ホール、過去の大きなニュースを伝えた紙面をはじめとした各種展示コーナーなどがあります。月曜日から金曜日まで(祝日を除く)見学を受け付けています。



重要ニュース紙面展示コーナー

山陰中央新報や前身の新聞は、140年以上にわたって国内外のさまざまな出来事を報じてきました。竹下登首相の誕生、くにびき国体、山陰地方を襲った災害などを伝えた紙面を展示しています。



カラー印刷の輪転機模型

カラー印刷の仕組みを輪転機の模型で解説します。模型は高さ1.8メートルで、4色を印刷するローラーが上下に並んでいます。ローラーの回転に合わせて紙が動き、4色を重ねて印刷する仕組みを理解してもらいます。

主な展示・設備

1階
●創刊号パネル
●記念日新聞コーナー
●重要ニュース紙面
●活字など印刷資料
●巻き取り紙
●多目的ホール
●活版印刷機

2階
●さんさんホール(188ディスプレイ設置)
●組版体験コーナー
●輪転機模型
●インキ

「なるほど新聞」コーナー

見学について

時間 月～金曜日(祝日除く) 午前10時～午後2時半

人数 1日2団体まで
1回の来館者は40人まで

内容 館内見学、新聞教室

予約 電話で受け付け
(平日午前9時～午後5時)

予約・問い合わせ先
山陰中央新報
製作センター
(出雲市斐川町上庄原1318)
電話 0853(73)9331